

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年 4月 9日

事業所名 児童デイサービスそら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	利用者が多い時は1階2階に分かれて活動を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		利用人数に対しての職員配置は適切であるが、男性職員がいてくれると助かる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	バリアフリーではない箇所もあるが、手すりや板をひいて段差が少なくなるようにしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	起案を立て反省点など話し合い次へつなげて改善していけるよう心掛けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	地域交流を取り入れたり保護者への伝達も行うよう心掛けている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	相談員から意見をもらい業務改善につなげている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	コロナ感染症対策のためオンラインでの研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者の希望や要望を聞き入れ苦手な事への取り組みを強化し克服できるよう計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議で立案し、話し合って決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月替わりやテーマを変え、固定しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	日案を作成し、一日のスケジュールを決め支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個々に合わせて個別活動と集団活動組み合わせ取り組んでいる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時に当日の担当者が役割分担をし皆で確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	当日に伝えなければいけないことは伝え、翌日の朝礼で振り返りを行って話し合う。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個別日誌をつけ、気になる児童について話し合いをし、支援方針を決めている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	日々児童の様子を観察し、定期的に計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	対象児童の担当職員が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校へ迎えに行った際、体調やトラブル等の確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	保護者を通して主治医からの指示書を仰ぎ、緊急時の対応マニュアルを作成している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%	系列事業所から異動してくる児童で、中高学年が多いため、特にこちらでは行っていない。新入生の場合は情報共有を行う。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	相談員を通して必要な情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	0%		今年度は研修が行われていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%		今年度はコロナ感染症拡大防止のため開催できていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	隔月で行われる連絡会に管理者が出席している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時に児童の様子を伝えるようにしている。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	どのような支援が適しているか計画を立て、家庭でも行ってもらえるよう伝えている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	聞き取りや送迎時に児童の様子を話し合い、持ち帰って事業所全体で対応できるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%		今年度はコロナ感染症拡大防止のため開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	迅速に対応している。また、事業所全体で共有し改善するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	利用カレンダーに記載したり、お便りで知らせている。また、ホームページの保護者専用ページにて頻繁に写真を更新している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報ファイル等の保管庫には施錠をして注意を払っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳での伝達と併せ、内容によっては送迎時に対面で伝えたり、行き違いのないよう努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	地域住民の招待はできていないが見学や体験には行っている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	警報発令時やコロナ感染症対策などの手紙を配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		行っているが、回数を増やしたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	コロナ感染症対策のためオンラインでの研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約の際に説明を行い、同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのある児童は現在在籍していないが、薬の副作用で食べてはいけない物に対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎月事例を挙げて職員間で共有している。	